住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクロー **KIKUSUI**

福美多通信

0.3 2007.9.15

菊水福祉のまち推進センター運営委員会 電話 011-887-7006 FAX011-887-7006

平成19年度 地域連携事業



8月2日午前10時、菊水6条3丁目 の幌東小学校グランドで「白石・みんな であそぼう in 幌東小学校」が開かれ ました。

これは、地域連携事業の一環として開

催されているも ので、今年は白石 東、東白石とこの 菊水で開催され ました。乳幼児の いるご家庭同士



の交流や、子どもたちと高齢者の皆さんが、昔の遊びの伝承を通じて触れ合う機会を増やし、

心豊かな子育て環境を整備しようとして設けられたものです。

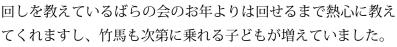
当日は、お母さんと子どもたち400人ちかくが参加しました。

遊びのコーナー「伝承あそびのコーナー」では、竹馬、



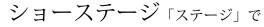
コマ回し、お手玉遊び、あや取りな どをお年寄りが教えています。コマ

てくれますし、竹馬も次第に乗れる子どもが増えていました。



「つくってあそぼうコーナー」では小学生低学年の子どもたちがスタッフのお姉さん に教えられて、ブーメランやサングラスを作っています。「ゲームコーナー」では、各

種のゲームが子どもたちを待っています。



は、幌東中学校3年の栗林君による手品 ショーに、子どもたちは目を丸くしてい ますし、まこと保育所や菊水すずらん保 育園の子どもたちが、可愛い歌や踊りを



披露してくれると、仲間の演技に観客の子どもや大人たちから盛大な拍 手が沸きあがりました。幌東中学校生徒によるボードビル「南の島のカ





メハメハ」の可愛い人形の踊りには、見ている子どもたちも一緒になって体を動かし、盛んに拍手をしていました。

午前11時半に楽しいこのイベントは終了しました。「また来年もこようね」という子どもたちの声や母親たちの満足した顔が会場一杯にあふれていました。

高齢者の看護を学ぶ

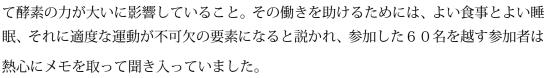
8月24日、菊水地区会館で今年第一回目の福まち研修会が開催されました。これまでは地域福祉の課題やその方法などについて勉強してきましたが、今年はより実践的な看護や介護の方法についての研修を企画してみました。

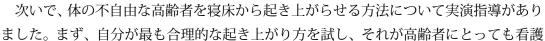




今回は家庭における看護の方法について日本 赤十字社北海道支部の看護師藤沢和子さんと山 本奈津子さんを講師にお迎えして、「家庭におけ る高齢者の看護について」のお話をお聞きしま した。

まず最初に、看護以前の問題である生活習慣 病や認知症の予防として、日ごろの食生活の大 切さを話されました。人間の生命力の源泉とし



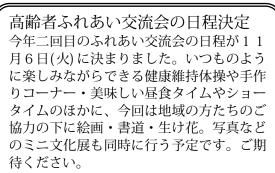




者にとっても楽な方法であると説明され、お互いに体験 することで「なるほど楽に起き上がれる」と納得してい ました。

また、古武術の技を応用して高齢者を椅子から立たせる 技術技の指導では、参加者がペアを組んで何度も練習を した後「ちょっとした力で楽に立たせることができる」 と不思議そうに感心していました。最後に、蒸しタオル を用いた身体の拭き方や、温湿布の仕方の指導を受けました。

参加した女性の方は「もっと早くこのような勉強をしておけば、おばあちゃんも楽だったろうし、私ももっと楽しく看護ができたのに」と話していました。









暑かった今年の夏も終わり、すっかり秋めいてきましたね。 菊水地区の福まち活動は皆様のご協力のおかげで、すっかり定着してきました。いろいろなイベントを行っているその影で、多くのボランティアがこの事業を支えてくださっていることを忘れてはなりません。今回の地域連帯事業でも町内会役員、民児協委員、日赤分団員、子育てボランティア、育成委員、白石バラの会員、子ども会、学生ボランティアなどが多数参加してくださっています。あなたたちのお力でこの街の福祉が守られているのです。有難うございます。 (福まち広報部)